

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2019

5

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	9
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 4月例会	21
十和田たてがみ川柳会 3月句会報	32
川柳吟行会「ぼ」 笹田隆志	28
■作品鑑賞■	
—奈良一艘がとことん深読み— 「深艘心理」 奈良一艘	8
■連載エッセイ■	
リレーエッセイ「途中下車」 城後朱美	20
「むさし川柳教室十周年」 葉 閑女	30
Infomation	35～

カンテラ

おかじょうき川柳社代表

むさし

この頃、角田古錐さんのことを頻りに思い出す。

あの世で、「友達になろう小銭が少しある」なんて言っ
て人（霊？）を集め、「こっちでも川柳だ」と句会をやっ
ているかもしれない…。坂本勝子さんもいるかな？

「むさし、早く来いよ！」という声が聞こえて来そう。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

そういえば兄がほしいと駄々こねた 村上あつこ

夢の味するガム ふくらまないんだ 松谷早苗

立ち止まり振り返らない影ぼうし まみどり

春が来て半音高い吐息つく 辻井洋子

気を抜くと凸凹になる水平線 夏草ふぶき

間違って太平洋を抱いている 石橋芳山

劇薬は要らぬパンツを穿きなさい 木村美映

もう少し太い直線だったのに 斎藤泰子

笑ってもいいし謝ってもいいし 安藤なみ

ありがとうってさよならだった 一帆

一帆さん、どこで「ありがとう」＝「さよなら」とい
う方程式を見つけたの？誰かが亡くなられる時、一帆さ

んに「ありがとう」とでも言った？思いつ切り破調って
のもいいですね（笑）

B群

買物のが少しだけ伸びただけ ひらく

ゲノム編集どこかに空がありそうだ まきこ

虫ピンでとめてある闇の抜け殻 米山明日歌

まだ白紙屑籠だけがいつぱいに ひとり静

そして満開 希林の死裕也の死 守田啓子

不謹慎な数式ばかりやってくる 葉閑女

ひと匙の黄な粉距離感訊いてくる 熊谷冬鼓

回想とロールケーキは相似形 高橋星湖

眼科には似合わぬ鳥のイヤリング 月波与生

前髪をあげ光る草原見せてくれ 小野五郎

月光を逃れてルビをはずし合う きさらぎ彼句吾

きさらぎ彼句吾さん、「ルビをはずし合う」っておも

しろい表現ですね。「ルビ」は、振り仮名で、漢字の傍
にその読み方を示すためにつける仮名のこと。というこ
とは、読みにくい漢字につけられる。「ルビ」を「はず
せば、元の読みにくい状態に戻ってしまう。ほとんどの
人間は「ルビ」をつけているのかもしれないね。月光
の届かないところで「ルビ」をなくして素のままになっ
た二人、次のシーンはどうなるのでしょうか。

C群

サバ缶に並ば疑似サザエさん一家 岩根彰子

へいせいがいしむイマジンはきなから 奈良一艘

いちじるしく落ちている時計の針 鳴海賢治

魚座から貰うガラスのハイヒール 須藤しんのすけ

岩根彰子さん、「サザエさん」で、あの、1946年
に連載が始まったという長谷川町子の漫画ですよ？私
（現在70歳）の生まれる3年前に始まったんだ…。私は、

「サザエさん」のことを「磯野サザエ」だと思っていたのですが、フグ田マスオさんと結婚したので「フグ田サザエ」なんですね。調べていて大いに驚きました。「サザエさん一家（サザエ、マスオ、タラオ）」は、サザエさんの両親波平・フネ夫妻の家に弟のカツオや妹のワカメたちと一緒に暮らしている。世の中に「マスオさん現象」というのがあって、それは、夫が妻の実家に婿入りという形をとらずに同居する家族形態のことで、「サザエさん一家」が元になっている。そんな家族を彰子さんは「疑似サザエさん一家」と言っている、ようだ。と、ここまででは分かった。で、最初の「サバ缶に並ぼう」「サバ缶」は鯖の缶詰のことで、今、かつてない程のブームらしい。原因は、『サバ缶を食べると、痩せるホルモンの分泌が促進されるためダイエットに効果的』とテレビ番組で紹介され、女性の関心が大いに高まったことにあるという。でも、この句の「サバ缶」は、それと関係なさそう…。「サバ缶」は健康にもいいらしく、そんなに

ない？(笑)

鳴海賢治さん、寺山修司も書き始める程シュールな光景ですね。「時計」は時を刻むものですが、その「針」が「いちじるしく落ちていく」ということは、針のない時計が「いちじるしく」とあるということですよ。つまり、時を刻めない時計が「いちじるしく」ある…。今の世は、そんな混乱した時代だということでしょうか。ところで「○○○○落ちていく」の「○○○○」に「いちじるしく」を採用出来る人って、この世に何人いるでしょう…。私には鳴海賢治さんしか考えられません。「いちじるしく」なんて思っても見ませんでした。

須藤しんのすけさん、まさか「ガラスのハイヒール」を履いて仕事に行ってるんじゃないでしょうね？句を読んでシンデレラの「ガラスの靴」を思い出しました。あれって、十二時に魔法が解けても「ガラスの靴」のまま

高価でもなく家計にやさしい。その辺かな？時事を超えた時事川柳って感じ…。

奈良一艘さんは、ひらがな病に罹ったかな？「へいせい」は「平静」でも「兵制」でも「平正」「幣制」「兵勢」「弊政」でもなく「平成」で、2019年4月までの元号のことだと思おう。「イマジン」と言えば、「Imagine（想像しなさい）」と呼びかけで始まる1971年に発表されたジョン・レノンの楽曲、でしょ？人類愛や平和を勧める歌として多くの人々に愛唱され、今も根強い人気がある。「しずむ」は「沈む」だと思うが、「はきながら」は「吐きながら」なのか「履きながら」なのか「掃きながら」なのか。「はく」は広辞苑によると他に「佩く」「帯く」「着く」「穿く」「履く」「化く」「捌く」などがあるので困る。でも、ここは「吐く」だろう。(汗)ということ、一艘さんは「令和」を間近にして、昭和・平成を振り返りながらこんなことをつぶやいている…。カツコ良すぎじゃ

だったんでしょうね…(汗)などと、この句の「ハイヒール」のことは何となく想像がつかます。分からないのは「魚座」。私は星座の事も神話の事も全然知らない。で、広辞苑を引いたら「うお・ぎ【魚座】①中世、魚商人が結成した同業組合。②(Pisces ラテン)黄道上の第1星座。春分点を含む。水瓶座の東、牡羊座の西にある。晩秋の夕暮に南中。」と出ていました。しんのすけさんの「魚座」は①じゃないよね。とすれば②だ。(と言っても、私は全然分かっていない。)つまり、遠い遠いところにある「魚座」という星の集まっているところから「ガラスのハイヒール」を貰うってことでしょ？(やっぱり分かっていない…)はやぶさ2が小惑星リュウグウから持ち帰る衝突実験の結果と関係あるのかな…(汗)違うだろうなあ。

深艘心理

とうさんのパンツを穿いてがらんどう

鳴海賢治

(おかじょうき無人駅3月号より)

おかじょうき無人駅という駅には、全国各地から様々な乗客が、とてつもなく面白おかしくヘンテコで危うい「川柳」という服を纏って集まってくる。今月の目に止まった乗客の服を一艘なりにフアツシヨンチェック。

お父さんのパンツを穿いたら中には何もなくて広々としている。ん、なんのこっちゃ???

トランクスを取説かそれともダイエツトで痩せた話?となるのだが:もつと深く読みたい。

とうさんは作者自身の立場の事であり、その作者の大事な生殖器あるいは恥部:を覆い隠すパンツとはきつと自尊心・プライドの比喩ではないのだろうか?

がらんどうは広々としていて何もない空間という意味が一般的だが、語源は伽藍堂からきているそう。伽藍堂とは「仏道の修行者が集まって修行する清浄で閑静な場所」だという。つまり、作者のいう「とうさんのパンツ」は修行の場であり、まさしく祈りそのものなのだと気が付く、という仕掛けなのだ。

作者の川柳に対する視点は一見飄々としているように見えるが実はヘビー級クラスに重いヒューマニズムにあふれている。そして川柳というプリズムへの屈折率もハンパではないようだ。

句そのものが屈折しているのか、それとも読み方が屈折しているのかは各自の判断にお任せをする(笑)

おかじょうき川柳社員雑詠集

無人駅

★無人駅4月月間賞

ちゆるちゆるつきびしいんだねちぢれ麵

守田啓子

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

連休の途中に椰揄を置いてみる
シャイロックみたいな業とすれ違う
母の日も合評会もコンビニで
火遊びと湯浴み他人の空似です
不謹慎な数式ばかりやってくる

先月号のお気に入り
伝わらぬ気持ちちをふたりして眺め 月波与生
不思議なふたりですね。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

十時開店鐘を脱ぎすてる
ポインセチアがいらつしやいませになる
遠くからお久しぶりがきてくれた
申し訳ございませんを言い慣れる
うれしいことを一グラムずつ積んで

先月号のお気に入り
メガネ拭く春の呪文を唱えつつ 熊谷冬鼓
アフラカダフラ 私もメガネを拭きましょう

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

家と人メンテナンスを競いあう
オブラートに包む苦言は呑み込めぬ
号泣を受け止めている魅まんじゅう
裏メニュー私一人のためにある
平成を締める三三七拍子

先月号のお気に入り
厄介かどうかは緑茶淹れてから 熊谷冬鼓
何かあるとすぐパニックになる私。一呼吸おいてからです
ね。

安藤なみ【あんだうなみ・愛知県瀬戸市】

セカンドバッグに非通知の茜雲
笑ってもいいし謝つてもいいし
いいものもいいこともなく蛙踏む
リコピンの声にトマトを出すお店
不揃いな布 パッチワークの秩序

先月号のお気に入り
花は咲くまま葉っぱは落ちるまま 土田雅子
横になりたくくなりました。

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

タンタカタント 春を宣言いたします
あちこちからほらほら湧きだす 嬉奇奇奇
温室で出逢う背中 A to Z
だからを隠すストールのピンク
油断しない見たわよなんて言わせない

先月号のお気に入り
捨てなさいワクワクしないところなら 斎藤泰子
そうしようかと思っていたところです。ありがと。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

虫ピンでとめてある闇の抜け殻
無理です左はゾウで右はヒョウ
わたくしの何を筆ればでる答え
梅一輪香つたような余白あり
みせましょう結んだままの箱の中

先月号のお気に入り
青空が根を下ろせずにいる不安 夏草ふぶき
青空が根を下ろせない。わかります。曇天は、根、下ろ
しますよね。

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

頭蓋骨削ってロックンローラー
間違つて太平洋を抱いている
吐き出した恥部だし四万十の汚れ
黒酢ニクわたしが継る最後の手
袈裟懸けに路面電車が斬りつける

先月号のお気に入り
生臭い喪服他人という微罪 須藤しんのすけ
私は、喪服を着ても誑経を聞いていても生臭さは変わら
ないけど・・・

一帆【いちほ・秋田県秋田市】

やれるだけやった人から並んでる
可動域広げて海を渡りきる
まだ離していない右手からふわり
ゴールなら謝罪をしたい人ふたり
ありがとうつてさよならだった

先月号のお気に入り
想い出は背中合わせのあたたかさ 城後朱美
あたたかい気持ちになれたら満点

岩根 彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

なんだなんだよふんブレーションオムレッツ
Y字路にならはったロッケンロール
逐電を企てている紫木蓮
信用はゼロねミモザの声色遣い
サバ缶に並ぼ疑似サザエさん一家

先月号のお気に入り
いっだって手はある鼻に穴もある 安藤なみ
もう少し生きられそう。久しぶりに

小野 五郎

【おのごろう・青森県青森市】

抽出しから出たがつっている五月闇
前髪をあげ光る草原見せてくれ
誰も知らないヒガンバナの肩の凝り
鉄人二十八号のバラの頬つぺた
胡瓜の破断面から夏が来る

先月号のお気に入り

きさらぎ 彼句 吾

【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

シャワーに犯される テラヤマに墮ちる
月光を逃れてルビをはずし合う
お電話下さい存在感が在る内に
不純物だらけが何故かまぶしいの
言霊より多弁な無口な傷痕

先月号のお気に入り
忘れるっていいでしょ いつも新鮮 吉田吹喜
納得!!

木村 美映

【きむらびえい・青森県青森市】

コイバは二ヶ月一度だけの恋
ステージでギターピックを拾う夢
アラジンのランプは手垢まみれです
劇薬は要らぬパンツを穿きなさい
重鎮はいやだ景徳鎮になる

先月号のお気に入り
不要不急の元気は消しましょう 小野五郎
部屋の中ではいつも消灯しています (笑)。

熊谷 冬鼓

【くまがいとうこ・青森県青森市】

開かぬのは鍵穴のせい鍵のせい
天気雨すこし結び目ゆるくして
ひと匙の黄な粉距離感訊いてくる
用心が変な角度に刺してある
無器用にも新元号という響き

先月号のお気に入り
非常口そんじょそこらを折られたむ 石橋芳山
そんじょそこらが多すぎて逃げ遅れました

斎藤 泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

おひさまが当たる十年なら過ぎた
しあわせをあしたへとつておくラップ
もう少し太い直線だったのに
紺色の間違いなさが嫌になる
干からびた形もそうは悪くない

先月号のお気に入り
伝わらぬ気持ちをつたりして眺め 月波与生
登場人物はふたり？三人？なんかせつない。

笹田 隆志

【ささただたかし・青森県青森市】

地下室のミイラを抱いてスマホする
冬をなごみ春をはじらうトドの鼻
蚤とシラミ合戦の時塩を食む
百歳まで生きていたいと百度踏む
ラーメンが好きでたまらず麺になる

先月号のお気に入り

城後 朱美

【じょうごあけみ・福岡県八女市】

宇宙規模で悩んでみたい靴の紐
中途半端だから火星が遠くなる
水仙に嫉妬していた臍の穴
認めようとしなない泥濘の葦よ
あなたはそう思うのねと受けいれる

先月号のお気に入り
三月が甘納豆を探してる 葉閑女
甘納豆が私を見つけてくれるかな

Sin

「しん・青森県外ヶ浜町」

「諦めないで頑張つて生きて」なんて向日葵は言わない
何かに追われて 薄っぺらいぺらい
彼女はソメイヨシノの調律師なんだ
何かに追いつかれて また夜を越えてしまった
殴り書きされた昭和を見せつけてやる

先月号の
お気に入り
生臭い喪服他人という微罪 須藤しんのすけ
他人というだけで微罪なら、「全員、容疑者」↑あ、これ
映画「マスカレード・ホテル」のキャッチコピーです(笑)

須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

お好みの国家復興色盛り
魚座から貫うガラスのハイヒール
病室に籠の傷痕だけ残す
ゆずらない女の肌の濃いところ
眼裏の禅問答を読み上げる

先月号の
お気に入り
事件当時わたしは卵食していた 鳴海賢治
他人事のように言い放つ必死さが素敵です。

田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

皇帝に一番近い飛蝗して
七番目の天使が今降りてきた
他に手がないので薇を炊く
変数で割って出来てもアナコンダ
線虫が時々顔を出す目玉

先月号の
お気に入り
まず神を削除話はそれからだ 夏井せいじ
時々神らしい顔が出て来て困る事があります。自分らしく
生きられなくなることが不安でもあります。

月波与生

【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

不自然な体位で舟を待っている
眼科には似合わぬ鳥のイヤリング
誰でもよかったと喉仏の呷
せつぶんのたびにやぶれていくガラス
鰯目の男のせいにしてしまう

先月号の
お気に入り
パイプ椅子きつと男性だと思っ ひとり静
イベントですらりの並んだパイプ椅子を男性と思うのは
男性に個性がなくなったからか。

天に還りのんのんと降る雪になる
国境を知らず白鳥は平和主義
偏屈な球根だつて春を待つ
逃げましょう手に手をとって靴脱いで
回想とロールケーキは相似形

先月号の
お気に入り

瀧尻善英

【たきじりよしひで・青森県八戸市】

足跡に音譜を付けて春を待つ
言い訳のセリフをいつも持ち歩く
人脈を繋ぐ努力のポチ袋
信教と政治は触れぬ初対面
ウォーリーがこんな所で笑つてる

先月号の
お気に入り
パトカーと目を合わせないようにする 斎藤泰子
やましいことがなくてもパトカーを見ただけで、つい緊張してしまふ。私ばかりではないのだと……。

辻井洋子

【つじいようこ・青森県青森市】

芯のない噂は捨てる下水道
りんご剥く地平線まで飛ぶレール
春が来て半音高い吐息つく
トースターがポンぞろぞろ寄ってくる五官
屋根になるスクワットするワンピース

先月号の
お気に入り
平行線たまに交わるから困る 石橋芳山
ホント！困る！

土田雅子

【つちだまさこ・青森県青森市】

戦いの冒頭で・踏む地雷
肉食です戦う女です かしこ
ひまわりの顔で仕掛ける落とし穴
戦場で語るハワイの空の青
平成のうぐいす餅にさようなら

先月号の
お気に入り
踊り場の無い階段をわたされる 米山明日歌
ひと休みはさせてもらえないのですね。

夏井せいじ

【なつせいせい・新潟県新潟市】

夏草を刈れるかどうか九十歳
戦争という地球苛めが寄ってくる
冷奴に駆けよつたのは大吟醸
ぼんやりをしても忘れぬ南無阿弥陀
火の女を妻にしました悪しからず

先月号のお気に入り

夏草ふぶぎ

【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

裏技で女のふりをするおんな
煙突を掴まえシャッターを下ろす
春を曲げたら君が生き返る
ガリリとレモン 太陽に嫌われる
気を抜くと凸凹になる水平線

先月号のお気に入り

ダイヤの乱れホルモンの乱れです 小野五郎
乱れてる真っ最中です

ひとり静

【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

空き缶を蹴ったくらいではだめよ
まだ白紙屑籠だけがいつぱいに
てっぺんをまずは崩してゆくルール
ただならぬ黒は割り算なんだから
途中からみんな因幡のしろうさぎ

先月号のお気に入り

もう少し謙虚にもう少しバナナに 守田啓子
バナナがあゝ もう少しと言われても難しいよ。

ひらく

【ひらく・青森県蓬田村】

日が伸びてママの家出も長くなる
旅をするただひたすらに猫の尾と
買物ののが少しだけ伸びただけ
決めたこと列車に乗って空へ行く
春風が強いのはなぜ□□名残

先月号のお気に入り

奈良一艘

【ならいつそう・青森県弘前市】

骨盤の余白千切りして寺へ
パスタとラーメンヌーブラと乳バンド
深呼吸してから蛸を裂きましよう
へいせいがいせずむイマジンはきながら
問題は光りかた内田裕也没

先月号のお気に入り

むらむらと生きよ紅白臈から 岩根彰子
紅白臈からね…了解しました！

鳴海賢治

【なるみけんじ・青森県つがる市】

お金あるひとお金ないひと交差する
いちじるしく落ちている時計の針
非常に印象的な眠り草
七十二病氣療養中でした
りゆうぐうの亀に落度はないのです

先月号のお気に入り

もう少し謙虚にもう少しバナナに 守田啓子
謙虚とバナナの取り合わせがよかった。

まぎ

【まぎ・青森県青森市】

ゲノム編集どこかに空がありそうだ
正しくは付度しない金魚です
とりあえず夢を寝かせて刻むネギ
元号のちよいと向こうの三角形
カエルぴよん荒野に種を蒔いてみる

先月号のお気に入り

六十歳 雨が降るならそのように 土田雅子
素敵です。雨は降らせないようにしてきた私です。

松木秀

【まつきしゅう・北海道登別市】

残金切れ次第退会いたします
ありがとうございますおかじょうきの皆様
川柳もやめる予定でいるつもり
これからも短歌俳句は続けます
青森は東京よりも遠いです

先月号のお気に入り

東京から一万九千円の距離 吉田吹喜
青森へ行くには私の家からだ東京の2倍お金も時間も
かかります。

松谷早苗【まったにさなえ・石川県金沢市】

フルーチェを作りすんごくほめられる
パンケーキ食べたきぼつちやりさん抱く
銀狙う 青さに浸るもう少し
夢の味するガム ふくらまないんだ
切る時の音やさしくて糸でんわ

先月号のお気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

思い出に浸る間もなく寒戻り
活気づくしまい忘れたコートたち
ひたすらにただひたすらにしたり顔
立ち止まり振り返らない影ぼうし
その気ならつまらぬ意地を通すだけ

先月号のお気に入り
花は咲くまま葉っぱは落ちるまま 土田雅子
逆らうつもりはないのだが。

向山タエ子【むこうやまたえこ・青森県青森市】

彼岸に向かい旅の途中の夜半の月
添加物をまぶした雪が舞い落ちる
もう終わりだなお世辞も言われなくなった
魚だから許される神経締めとやら
イヤダ嫌だと新玉ネギが駄々こねる

先月号のお気に入り
食べたいものが何んにもなくて赤い空 鳴海賢治
二、三年前から私もこんな感じになりました。死なない為
に食べているというところでしょうか。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

トランプに平和賞つて笑い話
徘徊も流浪の旅と思えばいい
今夜又銀河鉄道で旅に出る
鬼だつて泣きたい時があるのです
そういえば兄がほしいと駄々こねた

先月号のお気に入り
たたかわぬ人がたたかう仕度する 月波与生
何と戦うのか気になります。

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

そして満開 希林の死裕也の死
花びらの群れるなんにもしたくない
ありあまる時間ちぎって花吹雪
もちやもちやと折っているしあわせの襷
絵本でしょ暖炉の前の鼻眼鏡

先月号のお気に入り
つんつるんとすつとここのこのマリネ 向山 タエ子
常備食テス・・・(汗)

むさし【むさし・青森県蓬田村】

何もないところで少し立っている
ヒト科サメです幅寄せしてもいいですよ
「トランプ」を訓読みすれば「もえるいみ」
国語辞典に挟まれたまま死ぬのかな
春が来る誰も知らないところから

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階

【日時】毎月2回 第2・4火曜日13時～14時半

【講師】おかじょうき川柳社 代表 むさし

【受講料】1回 500円

□ 5/14(火)「それから」 □ 5/28(火)「ドア」 □ 6/11(火)「昔」

□ /25(火)「レストラン」 □ 7/9(火)「指」 □ 7/23(火)「酒」

● 投句先：〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干 43-3

むさし宛 / TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

はしやぎ 始めた

4月6日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(17名)

奈良一艘・夏草ふぶき・熊谷冬鼓・木村美映・渡邊こあき・葉閑女・森雄岳・きさらぎ彼句吾・坂本清乃・吉田吹喜・北野岸柳・土田雅子・まきこ・小野五郎・むさし・柳谷たかお・笹田隆志

▼投句者(9名)

米山明日歌・岩根彰子・月波与生・村上あつこ・田久保亜蘭・鳴海賢治・城後朱美・まみどり・須藤しんのすけ

2年前、夫は肺がんの手術をした。手術は成功し、間質性肺炎の治療をしていた、10月7日夫婦で孫の運動会に出かけた。一緒に笑い焼き肉を食べた。21日、突然、呼吸困難に襲われ救急搬送された。人工呼吸器をつけられ、目を覚まさない夫のそばに付き添う。病院のホテルに泊まり込んで10日目の朝、やっと夫は目を覚ました。筆談でプロ野球の結果を聞いてきた。思わず笑ってしまった。夫の病状は一進一退、落ち着いてきたかなと思うと急に悪くなる。娘たちは誠心誠意看病した。私は病室の隅で夫を見守るだけだった。薬の副作用で腎臓が腫れて手術、ついには左肺が破れて、肺気胸になり管が差し込まれた。そのたびに呼び出されて説明を受ける。転院の期待も無くなった。

1月2日、延命治療をするかしないかと主治医から聞かれた。人工呼吸器をつけたら今度は、眠ったままの植物人間になるだろうと言われた。すーっと涙が流れた。人工呼吸器をつけても助か

リレーエッセイ 途中下車 乗客97. 城後朱美

「夫のこと」

らないと言われ、家族の気持ちは決まった。そのことを私は夫に言えなかった。長女が泊まり込み、話してくれると言う。かなしい決断である。夕方、娘たちは買い出しに出かけた。少しの間、夫婦だけの時間が持てた。何を話したかよく覚えていない。川柳の話や、金婚式の話をした。穏やかな時間だった。3日、夫は延命治療をしないと決めた。4日、体調が落ち着いた夫に足湯をしてもらった。せめて気持ちよい時間をいただいたのだろうと思った。夫の頼りない背中を私が支えた。孫が夫の足を拭いた。夫にとって、この上なく幸せな時間だったことだろう。翌日の5日、容態は急変、夫の手を握る。苦しいねと聞くと夫は頷く。酸素マスクをつけても外しても苦しい。両肩が激しく動き、見ていられない。「眠ろうか?」と夫に聞いた。夫は大きく頷いた。睡眠剤を打たれ、夫の体がガクッと揺れ、静かに旅立った。静かな時間が流れた。

席題『音』

青森県青森市

夏草ふぶき選

【佳作】

熊に出会ったときの白い音

笹田隆志

音立てて水呑む生きている証に

柳谷たかお

迷うのはやめよう今日の四分音符

まきこ

火葬場の待合室の風の音

むさし

win・winの関係本音は分かるまい

土田雅子

霊柩車を通る選挙カーはガナる

奈良一艘

ラの音で生まれてラ音に送られる

木村美映

がさがさと無声映画の心音

小野五郎

皮^{びいたん}蛋のややワイセツな破裂音

奈良一艘

拗音をやたらに使ういい女

森 雄岳

イマジンが聞こえる海が呼んでいる

むさし

本音ですか指のふるえが語るでしょう

きさらぎ彼句吾

モザイクに無口になってゆく音叉

熊谷冬鼓

断捨離の音はにぎやか華やかに

坂本清乃

悪口雑言浴びてアザミらしくなる

きさらぎ彼句吾

その時を知られぬように椿落つ

熊谷冬鼓

【秀逸】

音階が狂って空が落ちてくる

木村美映

蛇口全開ルールブックは捨てました

まきこ

一陣の風 尿道カテーテル

むさし

【特選】

爪先を引摺るジャンバルジャンの音させて

奈良一艘

* その音、確かに聞こえます。

席題『音』

青森県弘前市

奈良一艘選

【佳作】

その時を知られぬように椿落つ

熊谷冬鼓

win・winの関係本音は分かるまい

土田雅子

靴音を響かせやつてくるカタキ

葉 閑女

音たてて切った縁です桜咲く

渡邊こあき

門を曲がる足音だけでわかる人

笹田隆志

拗音をやたらに使ういい女

森 雄岳

迷うのはやめよう今日の四分音符

まきこ

北向くと碧が濃くなる音がする

夏草ふぶき

ラの音で生まれてラ音に送られる

木村美映

拗音をやたらに使ういい女

森 雄岳

イマジンが聞こえる海が呼んでいる

むさし

本音ですか指のふるえが語るでしょう

きさらぎ彼句吾

モザイクに無口になってゆく音叉

熊谷冬鼓

断捨離の音はにぎやか華やかに

坂本清乃

悪口雑言浴びてアザミらしくなる

きさらぎ彼句吾

その時を知られぬように椿落つ

熊谷冬鼓

【秀逸】

音階が狂って空が落ちてくる

木村美映

蛇口全開ルールブックは捨てました

まきこ

一陣の風 尿道カテーテル

むさし

【特選】

爪先を引摺るジャンバルジャンの音させて

奈良一艘

* その音、確かに聞こえます。

ワーツと叫んでやつぱり袋小路

熊谷冬鼓

どう生きる そしてどう死ぬ 蝉時雨

柳谷たかお

蛇口全開ルールブックは捨てました

まきこ

ダクト室から平成の鈴の音

土田雅子

音階が狂って空が落ちてくる

木村美映

火葬場の待合室の風の音

むさし

【秀逸】

聴診器あてられ花冷えを晒す

きさらぎ彼句吾

イマジンが聞こえる海が呼んでいる

むさし

悪口雑言浴びてアザミらしくなる

きさらぎ彼句吾

【特選】

一陣の風 尿道カテーテル

むさし

* カテーテルを入れる時の風の音。たしかに聞こえました。

宿題『輪』

青森県蓬田村

むさし選

【佳作】

輪になって令和改元盆踊り
 狭まる輪飛びだすのなら今でしょう
 車座を抜けて緋く万葉集
 指輪から首輪になって四十年
 勝ち進む椅子取りゲームでの孤独
 一輪を咲かす一粒の雨でいる
 誠実な輪の中にいるドジョウたち
 輪唱に入る角度がわからない
 離れたくて巡り巡って元の家
 苦しくて伸びた輪ゴムに取り替える
 知恵の輪の知恵だけ陽水が歌う
 壺焼きの肝をぐるぐる午前二時
 頭の上の輪は今すぐ返して
 輪になって踊れ独裁者の卵

木村美映
 渡邊こあき
 葉 閑女
 土田雅子
 夏草ふぶき
 坂本清乃
 葉 閑女
 米山明日歌
 夏草ふぶき
 小野五郎
 月波与生
 岩根彰子
 田久保亜蘭
 須藤しんのすけ

輪ゴム掛けるワタシがバラけないように

憲法と五輪をつなぐ活断層

団塊の気泡ぶくぶく飛蚊症

年輪の縁で陽だまり探してる

議事堂の廊下に放置三輪車

埴輪になってからの長い休日

【五客】

ちえの輪がはずれない選挙カーの声

竹輪から覗いた冬の水族館

かごめかごめ中で原子炉再稼働

七輪で多つていたら八代亜紀

輪の中で溺れたらいい溺れてもいい

【人位】

どのゲノム間引こうか雪女郎輪廻

【地位】

つかぬことを伺います 一輪車？

【天位】

月の輪へ酸化してきた身を投げる

* 身を投げる場所があつてよかったですね！

きさらぎ彼句吾

笹田隆志

奈良一艘

熊谷冬鼓

まきこ

月波与生

渡邊こあき

木村美映

森雄 岳

田久保亜蘭

奈良一艘

きさらぎ彼句吾

吉田吹喜

奈良一艘

宿題『ケース』

青森県弘前市

吉田吹喜選

【佳作】

ショーケースに正しく飾る二日酔い
 ショーケースの中にホーキングの脳なづき
 現実がガラスケースの絹豆腐
 ガラスケースで育ちましたねお嬢さん
 レアケースか詐欺か男から燃える
 弱点をケースワーカーに預けてる
 万馬券メガネケースが隠し場所
 まだ箱に入ったままの貴金属
 除菌され仕舞われ忘れられてゆく
 箱庭を持ち歩いてるパスケース
 ひとケースいくらなんです爪の垢
 ギターケースに隠したままの遺言書
 透明で軽くて揺れぬ棺なら
 判例集に載ってたボクのさらし首

まきこ
 木村美映
 米山明日歌
 渡邊こあき
 月波与生
 夏草ふぶき
 笹田隆志
 まみどり
 熊谷冬鼓
 城後朱美
 田久保亜蘭
 笹田隆志
 まみどり
 きさらぎ彼句吾

時には舌が出る場合もあります

ただ一人こんな場合もあるだろうか

くしゃみした程度によつて違います

酔っぱらうしかないケースバイケース

こんな事例あつてもいいネ福寿草

私の場合はそうね口パクで

【五客】

年半分のマグマ噴き出す衣裳ケース

旅好きなたばこケースだよくしゃべる

前例で包むと館こはみ出ちゃう

少しだけ箱から顔を出す少女

ミサイルがはみ出しているペンケース

【人位】

定期券入れから匂う片思い

【地位】

ケースワーカーの胃でマンドリン響く

【天位】

ケース「傷口に降る春の雪」

* ドラマチックな感じにきゅんとききました。

鳴海賢治

北野岸柳

鳴海賢治

城後朱美

坂本清乃

熊谷冬鼓

土田雅子

柳谷たかお

きさらぎ彼句吾

須藤しんのすけ

むさし

月波与生

月波与生

むさし

宿題『自由詠』

青森県青森市 笹田隆志選

【佳作】

生まれつきです 私の舌はピンク
 オキナワの踏み絵を踏んだシンゴジラ
 口びるか梅干しかわからないなんて
 思い出を辿ればボクは異邦人
 攻めるものもう無いのですレモンのレ
 あなたからわたしの顔が出てこない
 春シヨールぶるつと三分咲きの咳
 徘徊の途中で影が逃げて行く
 一班は編みタイツだけ履きなさい
 ゆつくりと星が死ぬのを見て眠る
 春のミミどこをかんでも柔らかい
 春が来た視力検査の文字暗記
 私を出ていけナミアゲハ一号
 エンジン始動 今日も銀河へ出港す

吉田吹喜 森雄岳 吉田吹喜 葉閑女 まきこ 夏草ふぶき 岩根彰子 岩根彰子 須藤しんのすけ 田久保亜蘭 柳谷たかお 柳谷たかお 岩根彰子 柳谷たかお

帯状疱疹として三枚におろされる
 復縁ださあ満月を呼んで来い
 大抵の大人は免許持っていない
 快樂の神だ偉大だ木星だ
 解けてゆくああ平成のマヨネーズ
 議事堂の入口の奥すぐ出口

【五客】

ゆるキヤラは得意 ひとり聞くアダモ
 朝からずつとカオナシでいる休息日
 動かない方のしあわせ血抜きする
 常識の範囲で夫婦交換する
 アドリブは苦手 サイズの合わぬ靴

【人位】

かあさんはピンクのかまきりになった

【地位】

釘一本も使わない妻と住む

【天位】

はしやぎ始めた前頭葉の活断層

* 活断層がはしやぎ始めた自分の脳はまさに危険です。

奈良一艘 葉閑女 小野五郎 葉閑女 奈良一艘 森雄岳

まきこ 夏草ふぶき 月波与生 月波与生 熊谷冬鼓

土田雅子

田久保亜蘭

むさし

順位	氏名	打率
1	むさし	0.667
2	まきこ	0.600
3	夏草ふぶき	0.567
4	須藤しんのすけ	0.528
4	田久保亜蘭	0.528
6	奈良一艘	0.524
7	守田啓子	0.500
8	月波与生	0.472
9	土田雅子	0.455
10	きさらぎ彼句吾	0.444
10	吉田吹喜	0.444
10	石橋芳山	0.444
13	米山明日歌	0.417
14	熊谷冬鼓	0.394
15	柳谷たかお	0.389
16	まみどり	0.361
16	岩根彰子	0.361
18	葉閑女	0.333
18	渡邊こあき	0.333
20	笹田隆志	0.303
21	小野五郎	0.300

打率

【選句率】※規定投句数は最大可能投句数の50%

順位	氏名	本数
1	夏草ふぶき	5
1	土田雅子	5
3	むさし	4
4	まきこ	2
4	米山明日歌	2
4	きさらぎ彼句吾	2
4	吉田吹喜	2
4	月波与生	2

本塁打

【3点句数】

順位	氏名	打点
1	むさし	29
2	夏草ふぶき	28
3	須藤しんのすけ	27
3	月波与生	27
5	土田雅子	26
6	まきこ	25
6	きさらぎ彼句吾	25
8	田久保亜蘭	24
9	米山明日歌	22
10	熊谷冬鼓	19
11	守田啓子	18
12	岩根彰子	17
12	吉田吹喜	17
14	奈良一艘	16
15	まみどり	15
16	城後朱美	13
17	鳴海賢治	12
17	小野五郎	12
17	笹田隆志	12
17	葉閑女	12
21	石橋芳山	10
21	北野岸柳	10
21	木村美映	10
24	村上あつこ	9
25	渡邊こあき	8
25	柳谷たかお	8
27	坂本清乃	6
28	森雄岳	4
29	野沢省悟	3
30	Sin	2
31	村井規子	1

打点

【総得点】

三冠王への道

【三冠王への道】本社句会宿題詠で、打率（抜句率）・打点（総得点）・本塁打（3点句の数）を競うもの。

「川柳吟行会 ぽ」

笹田隆志

「川柳吟行会 ぽ」の第一回吟行に参加して

三十年くらい前、職場に近い所に「だびよん劇場」があり、同じ職場にいた蟹田町役場を休職中の北野岸柳さんが「川柳トークショー」を月一回やっていた。先輩の岸柳さんがどんなことをやっているのか興味半分顔を出してみた。そこで初めて川柳をつくられた。二十五人ほどが投句し、岸柳さんがそれを講評し、最後に私の番になった。その日、どんな句を投句したのか忘れたが、岸柳さんの酷評だけは憶えている。

「この人は、川柳などやらない方が好い。ユーモアとアイロニーのセンスが全くない」

三月二十七日、物産館アスパム二階での「川柳吟行会 ぽ」第一回吟行に参加し、パノラマ映画を観ているうちに、何故か岸柳さんの「鉢巻をゆつくりほどく覇者の指」にとらわれた。結局、アウガに場所を移してからの句会でも、自分の句作ができないまま終わった。

句会には小野五郎、滋野さち、守田啓子、吉見恵子、奈良一艘、森雄岳、福田文音、渡邊こあき、熊谷冬鼓、笹田隆志の十名が参加し、アスパムでの吟行の成果を四句に込めた。

参加者全員で特選一句佳作二句を互選した結果、次の五句が上位の句に選ばれた。

「ぽ」しつねひやあ 「ぽ」よつち舟が沖入る 五郎

吟行会「ぽ」が船出したご祝儀も含め、さちさん最高点の7点。

あの日、私は川柳を頭の中から消した。ほどなく岸柳さんは役場に戻り、独立してプロの川柳作家になった。その後、岸柳さんは町会議員を経て、十八年前、参議院議員選挙に立候補することになった。その選挙で、多くの川柳人とめぐりあった。吉田州花さんには特によくしていた。選挙後、岸柳さんと私は再び職場で机を並べることになった。岸柳さんは仕事の傍ら、アウガで川柳教室を始めた。教室や句会に岸柳さんが声をかけたことは一度もなかった。川柳とは縁がないものと思っていた。病に倒れた岸柳さんは奇跡のように蘇生した。岸柳さんの長命を願い、神の啓示を受けた私はおかげようきに入会し、句会で岸柳さんの姿を見ることが私の川柳となった。

鳥瞰図の点点とほころびぬ 冬鼓

パノラマ映画の映像からつぼみと社会のほころびを詠んだ炯眼に4点。

天皇讓位カモメが立っている ポツン 啓子

天皇讓位とカモメがぼつんと立っている様をつなげた感性に3点。

のりたまの湿気 ふるさとの浮腫み 一艘

水分過多ののりたまとふるさとの取り合わせの妙、3点。

△の括れを探っているのです 五郎

三角（母？）に括れはなく、そのないものを探っていることに惹かれ、3点。

「むさし川柳教室十周年」

葉 閑女

二〇〇九年三月末日、むさしさんは東津軽郡蓬田村役場の総務課長の職を退いた。そして同年四月から毎月第二と第四火曜日の午後にあうがで川柳教室を開くことになった。むさし流の言い方だと「偉い人にやれと言われた」ということになるのだが、何処の結社でも一番偉い人は代表に決まっているのだから、この話をまともに聞く必要はない。含羞の人・むさしの一種のポーズなのだ。現在、教室の受講生は十六名ほどだが、これまでに教室の門を叩いた人は、冷やかしも含めると優に三十人を超える。その中には、NHK文化センター青森教室で「五・七・五で楽しむ新しい川柳」講座の講師の奈良一艘氏、NHKラジオ「新日曜名作座」の脚色を担当している古川壬生氏、元青森公立大学教授の福士隆三氏などもあるのだから、むさし人気のほどがお解りいただけると思う。その教室が、このほど十周年を迎えた。「お祝いしたいね」。昨秋あたりから何人かの受講生の間

で、そんな話が出始めた。有志で話し合い、さりげなくむさし先生の意向も訊いて、四月九日の教室終了後にささやかな宴を開くことになった。

むさし先生と受講生、特別ゲストの州花さまを加えた総勢十七名だ。冒頭、受講生一同から先生に感謝状を贈ることになった。「むさし先生 健やかなときも病めるときもー」という文案は渡邊こあきさん、筆写は豊澤かな江さんなのだが、この二人を差し置いて、進呈者は閑女という司会者・まきこさんの命令である。

いつのころからか、私は級長さんと呼ばれている。年齢も柳暦も私より上の人がいるというのに。もしかして態度が一番デカイ？ いやいや、変な詮索は止めてほしい。

小野五郎さんが乾杯の音頭をとり、その後一人ずつ教室への思いを語り、よく食べ、よく飲み、暮れそうで暮れない春の黄昏時は、穏やかに過ぎていったのであります。

おかじょうき川柳社：誌上句会

OKAJOKI ZERO LINE
0 番線

課題と選者（2句詠・共選）

題：『個』

7/31 〆切

選者

飯島章友（東京都）

Sin（青森県・おかじょうき川柳社）

投句方法

郵送・FAX・インターネットのいずれかからお選び下さい。

＜投句先＞

郵 送：〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 守田啓子宛

FAX：017-723-5696

ネット：<http://www.okajoki.com/toku/Oline.html>

投句料

1,000 円（発表誌星）※おかじょうき川柳社会員は無料です。

◆振込先：郵便振替 No.02260-8-43112 口座名 おかじょうき川柳社

◆郵送先：〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 守田啓子宛

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

十和田たてがみ川柳会3月句会

【時】平成31年3月16日(土)

【所】十和田労働福祉会館

【出席者】漆館ミノリ・久保あざみ・木村奈生美・斉藤蛙井・瀧尻善英・福田芳詔・村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題『付度』

高田 幸柳 選

【平抜き】

ほどほどの付度しつとおつきあい
ひらめ族付度の海で生きていた
山桜付度せずに咲きました
愛犬は付度知って顔を見る
総理への付度可視化できたらなあ
付度で掴み態度を切り替える
お互いの古傷付度しておこう
付度を甘く見過ぎた落とし穴

【秀逸】

美しく散りぎわ魅せる花吹雪

漆館ミノリ

斉藤 蛙井

久保あざみ

久保あざみ

福田 芳詔

木村奈生美

瀧尻 善英

木村奈生美

瀧尻 善英

重箱の隅付度の本音棲む
【特選】
控えめな虹へ一色足しますか

村上 昌子
瀧尻 善英

■席題『付度』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

重荷ですアメリカべつたり思いやり
ほどほどの付度しつとおつきあい
鬼あざみ付度をして散りました
世を憂いアイコンタクトする仁王
付度で掴み態度を切り替える
愛犬は付度知って顔を見る
不祥事が教えてくれた「付」と「度」
山桜付度せずに咲きました

【秀逸】

付度を期待している誕生日

付度を甘く見過ぎた落とし穴

【特選】

思いやり1ミリ狂って裁かれる

村上 昌子

漆館ミノリ

久保あざみ

高田 幸柳

木村奈生美

久保あざみ

高田 幸柳

久保あざみ

高田 幸柳

木村奈生美

村上 昌子

■宿題『足跡』

斉藤 蛙井 選

【平抜き】

研究者足跡残す新分野
子や孫の見守り終えて見守られ
検索の履歴開けば直ぐバレる
足跡は内ポケットに秘めたまま
次世代へ継ぐ足跡は伏せたまま
足跡も明日もなのまま消えた雪
足跡を辿ればいつも母がいる
遠回りした足跡に見えぬ徳
足跡を辿っていけば石になる
顔も見ぬ回覧板の印の跡

【秀逸】

雪解けの際に咲いてる福寿草

墓碑の字をなぞり祖先の声を聴く

【特選】

3・11 雁の小枝も返さずに

福田 芳詔

漆館ミノリ

磯島 雅男

木村奈生美

木村奈生美

木村奈生美

木村奈生美

城後 朱美

城後 朱美

瀧尻 善英

高田 幸柳

磯島 雅男

磯島 雅男

久保あざみ

瀧尻 善英

村上 昌子

■宿題『卒のない』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

卒のない口からため息が溢れる
赤ちゃんの握り返しに卒がない
卒のない仕事こなし様に見える
卒がないきつと仮面をつけている
片隅でそつのない人やつかまれ
そつのない総理秘書官しらばくれ
卒のない夫に胡椒振りかける
卒のない返事に会話続かない
鬼あざみ卒なく生きた事がない
卒がなく雛壇飾る児の未来
卒のない男の影を踏んでみる

【秀逸】

どこことなく好きになれないそつのなき

石橋を叩いて画鋏踏みました

【特選】

凜として歩く姿に卒がない

斉藤 蛙井

磯島 雅男

村上 昌子

村上 昌子

斉藤 蛙井

福田 芳詔

福田 芳詔

城後 朱美

城後 朱美

城後 朱美

久保あざみ

久保あざみ

磯島 雅男

磯島 雅男

高田 幸柳

高田 幸柳

村上 昌子

村上 昌子

□ 2019.06.30 第 61 回「不浪人賞」 第 49 回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟日より（結果）の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください（不浪人賞・年度賞一位に呈賞）【大賞作品】平成 30 年 1 月～12 月に発表された作品「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可（2 賞への同一句の応募は不可）【応募用紙】所定用紙または A4 の用紙を使用し楷書で不浪人賞（3 句）と年度賞（5 句）を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を（集計上の為）記入ください【締切】平成 31 年 6 月 30 日（当日消印有効・平成は新年号に変わります）【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島雉子森 33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞係」宛【選者】★不浪人賞（6 名）渡辺梢（埼玉）・赤松ますみ（大阪）・鎌田京子（宮城）・新家完司（鳥取）・島田駱舟（千葉）・野沢省悟（青森）★年度賞（10 名）長谷川酔月（秋田）・佐藤岳俊（岩手）・雫石隆子（宮城）・山口まもる（山形）・三浦哲夫（福島）・千島鉄男・むさし・工藤青夏・笹田かなえ・田鎖晴天【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 ☎080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟【協賛】青森県川柳社

□ 2019.07.21 川柳ゼミ「青い実の会」二十周年記念大会

【日時】平成 31 年 7 月 21 日（日）受付 11:30・席題発表 12:00 【会場】青森国際ホテル 2 階「春秋の間」青森市新町 1-6-18 017(722)4321 青森駅より徒歩 3 分【会費】¥4,500(懇親会・大会誌含む)【宿題】(各題 2 句詠・共選・字結び可)『天』福士慕情・むさし『静』沢田百合子・豊巻つくし『歩』太田久・千島鉄男【席題】(2 句詠・共選・字結び可)「 」岩崎真里子・高瀬霜石【特別選】(2 句)「扉」杉山昌善(川柳作家・脚本家)【大会事務局】030-0962 青森市佃 3-3-19 田沢恒坊 TEL・FAX:017-741-9215

□ 2019.09.23 第 1 回川柳忌黒石川柳大会

【日時】令和元年 9 月 23 日（祝・月）受付：午前 9 時 席題発表：午前 10 時 投句締切：午前 11 時【会場】グリーンパレス松安閣 黒石市乙徳兵衛町 34（駅から徒歩 5 分）電話 0172-52-3850【会費】4 千円（昼食・懇親会費・発表誌）【席題】(2 句詠)「 」千島鉄男・まきこ共選【宿題】(2 句詠)『チェンジ』高瀬霜石・山野茶花子共選『染』むさし・三浦清雪共選『伝』田沢恒坊・船水葉共選『光る』滝尻善英・沢田百合子共選【特別選】(折句 1 句詠)「 」野沢省悟・八木田幸子・成田我楽三人選 *選者一部交渉中【呈賞】宿・席題の合点 20 位まで及び特別選の第 3 位まで【主催】黒石川柳社【連絡・問い合わせ先】090 - 7933 - 6064 (三浦蒼鬼)

十和田たてがみ川柳会 5 月句会

【時】5月18日(土) 午前10時00分から 【所】十和田労働福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『縮む』久保あざみ選/『地球』斉藤 蛙井選 【互選】(二句詠)『近い』当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】一題(三句詠・共選) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-1 21 十和田労働福祉会館 高田幸柳

- 宿題『底力』
- ③華奢だった祖母が持った底力
 - ②誠実に生きる庶民の底力
 - ②雪解けの際に咲かせたあざみ草
 - ②親は子の為に気付かぬ力あり
 - ①今でしようマックスで振る反戦旗
 - ①とりあえず今皿洗うザーザーと
 - ①すごいなーオフクロ味の底力
 - ①タンポポは汚染されても咲くんだよ
 - ①ふところに発酵中の底力
 - ①多種多様な友人がいる底力
 - ①限界の村でシニアの底力

- 互選
- | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高田 幸柳 | 瀧尻 善英 | 久保あざみ | 漆館ミノリ | 村上 昌子 | 漆館ミノリ | 斉藤 蛙井 | 久保あざみ | 木村奈生美 | 福田 芳詔 | 瀧尻 善英 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|



川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町 2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈



川柳作品をお待ちしております。

■題「自由詠」Sin選

ハガキの表に「川柳」と明記し、ハガキ裏に作品（何句でも）、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、下記までお送り下さい。

【投句先】メール：tky.aomori@mbx.mainichi.co.jp 「毎日新聞・川柳」係
ハガキ：〒030-0803 青森市安方 2-8-10
毎日新聞青森支局 「毎日新聞・川柳」係まで

【掲載】毎週金曜日掲載

【賞】月間賞、年間賞には図書カードを贈呈

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2019.05.15 ㊄ FM青森チャレンジ川柳！むさし流！

毎週土曜日お昼12時から放送中！ 入選→秀逸→特選と毎週3句を紹介。5月15日締切。6月放送【題】「紙」【投句先】〒030-0812 青森市堤町1丁目7-19 (株)エフエム青森 チャレンジ川柳！むさし流！係 ※FM青森のホームページからも投句できます。FAX:017-735-1186もOKです。

□ 2019.05.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(7月号分)

【締切】5月20日必着【掲載】7/10発行号【提出先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>

□ 2019.06.01 おかじょうき川柳社本社6月句会

【時】6月1日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【宿題】(各題3句詠)『異』/『コース』/『自由詠』選者は当日決定【席題】1題3句詠・2人共選/席題の欠席投句拝辞【研究吟】自由詠1句【投句締切】句会前日必着【投句先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>

□ 2019.06.15 ㊄ FM青森チャレンジ川柳！むさし流！

毎週土曜日お昼12時から放送中！ 入選→秀逸→特選と毎週3句を紹介。6月15日締切。7月放送【題】「キャンセル」【投句先】〒030-0812 青森市堤町1丁目7-19 (株)エフエム青森 チャレンジ川柳！むさし流！係 ※FM青森のホームページからも投句できます。FAX:017-735-1186もOKです。

□ 2019.06.30 ㊄ 川柳ステーション2019事前投句

■おかじょうき川柳社「川柳ステーション2019」事前投句【投句締切】6月30日(日)【題】「自由詠」1句【投句先】メール:toko@okajoki.com 又は Fax:017-752-3759(熊谷冬鼓宛)/欠席投句拝辞・住所・氏名(柳号)を明記 *事前投句無しでもステーション参加できます*投句締切後作品一覧をウェブで事前発表します

会員雑詠「無人駅」投句用紙

柳号

住所

府 都 道
県

町 区 市
村

※楷書でハッキリとお書きください。

★お気に入りの一句(最新号からお好きな作品一句と、それに対する簡単なコメントをお書きください。)

コメント

【投句先】
〒030-0861
青森市長島4-23-4-102
守田啓子 宛
FAX.017-723-5696

※この用紙を切り取るか、コピーしてお使いください。

■会費拝受（3月受付分） ※太字は新会員

仙波草苑・田中なお（愛媛県）/ さいとうみき（弘前市）/ **森雄岳**・三上玉夫（青森市）/ **岩崎雪洲**（黒石市）

■おかげょうき川柳社 会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 FAX.017-723-5696

--- 終着駅 Sin ---

◆統一地方選挙があり、3月末から選挙事務に従事していたため、なかなか柳誌編集に手間取った（汗）大きな都市なら、選挙管理委員会専属の職員やアルバイトなどで対応するのだが、小さな町村はある意味、告示から投票日までの選挙事務を、総務課職員の全員野球で対応するしかないのが現状である（T_T）また、時期も最悪で、改元のスケジュールを避けるために、新年度を跨いでの選挙というトリッキーな事情も重なり、柳誌発行が遅くなったことをお詫びしたい。中には、柳誌より、賞品のホタテが先に届いた人もいたか（笑）◆さて、元号も新しく「令和」となった。今回の新元号論争の中には、元号不要論というものも入り混じりったものとなった。話は逸れるが、ワイドショーの凄みというか、なんというか、あれだけ、

日々、新元号について特集した番組が流れていると、元号について何も興味があった人たちでも、あっという間に元号博士になったかのような歴史の知識を身につけて、日々の会話に盛り込んでいることがとても驚きであり、テレビ媒体はまだまだ影響力があるんだと改めて思わされた◆新元号になったからといって、私は特にどうこう変化があるわけでもないのだが、人によっては、この元号改正のタイミングで、やれ禁煙しようとか、ダイエットを始めようとか、変身願望を抱えた人たちの一念発起を後押しする機会になったのであれば、それはそれで元号改正も悪くはないんじゃないかなと思うのである◆皆さんも、元号改正を機に、こんな川柳にチャレンジしてみようと思うのであれば、絶好の機会だと思います（笑）◆ Sin

川柳ステーション 2019

第1部 ※すべて2句詠

席 題 「 」 2題2人共選を予定（参加者から選出）

特選に青森県産ホタテ! ※漁の状況により品目を変更する場合があります。

第2部

目の前の句をなぎ倒せ! 川柳ヨ回シアム

トーナメントによる川柳の1対1バトル!
ディベートタイムが勝敗のカギを握る!?
さあ、エントリーしよう!

上位入賞者に
県産ホタテを贈呈!

題「自由詠」

(一句詠・事前投句のみ・2019年6月30日(日)必着)

投句先: メール toko@okajoki.com または FAX.017-752-3759 (熊谷冬鼓宛)

※欠席投句拜辞 ※応募時には住所・氏名(柳号)を明記すること。 ※作品一覧はウェブ上で事前に発表します。

2019.7.6 (土) 13 時開会

場所: ラ・プラス青い森 (駐車場有) / 会費: 5,000 円 (句会・懇親会費)

「ラ・プラス青い森」宿泊 (¥6,200 [朝食付]) 希望の方はTEL.017-734-4371 まで

主催: おかじょうき川柳社

2019年5月10日発行(年12回発行) 第22巻第5号通巻303号
●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風
青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田中師宮本2の3 ●TEL&FAX:0174-22-2119 ●E-Mail:info@okajoki.com